



# 朝十小だより

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子  
～ 豊かな学びで楽しさと笑顔あふれる朝霞十小 ～

朝霞市立朝霞第十小学校

令和5年度 1月号

〒351-0023

朝霞市大字溝沼828-1

TEL 048-469-5443

在籍児童数 761名

## 「まさか」ではなく「もしかして」

校長 岩崎 英雄

明けましておめでとうございます。令和6年の幕が開けました。年末年始、保護者や地域の皆様におかれましては、良い時をお過ごしになられたかと存じます。まずは新しい年もこれまで同様、朝霞第十小学校の教育活動に対し御理解・御協力くださいますようお願い申し上げます。この一年、十小の子供たちにとって、穏やかで良い日々が続くことを心から願うばかりです。児童一人一人の豊かな学び、そして、楽しさと笑顔あふれる学校のさらなる実現に向けて、本校教職員も気持ちも新たに全力を挙げてまいる所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、このような書き出しはしましたが、年が明けたばかりの2日間で、とても大きな出来事が起こってしまいました。能登半島での地震と羽田空港での飛行機事故です。最大震度7という大きな地震と津波、火災等の発生により、沢山の被害があっただけではなく、多くの犠牲者が出てしまいました。犠牲になられた方々の御冥福をお祈りするとともに、余震等の不安がなくなり、少しでも早く、安心して生活できるようになることを願うばかりです。そのような中、翌日には羽田空港でも大変な事故が起きてしまいました。旅客機が炎上しているニュース映像を見たときは、本当に驚きましたが、あの状況で乗客と乗務員の皆さんが全員脱出できたことに、安堵いたしました。どちらの出来事も「まさかお正月に…」と思われる方も大勢いたのではないのでしょうか。しかしながら、このような災害や事故はいつ何時起こるかわからないということもあらためて思い知ることとなりました。

### 大谷選手からのグローブ

タイトルにある『「まさか」ではなく「もしかして』は、交通安全や企業等でもよく使われる言葉で御存知の方も多いと思います。私たち教職員も校内で起こり得るであろう事故について、この「もしかして」の意識を忘れずに取り組んでいます。今回の地震でもNHNのアナウンサーが東日本大震災の津波の教訓から、確実に避難してもらえよう、より視聴者に伝わるアナウンスをしていました。マニュアルを見直し、アナウンスの訓練もしていたそうです。空港の事故についても、乗務員の日頃の訓練や意識が、全員の脱出につながったのだと思います。子供たちにも、避難訓練や生活指導の中で、これまで以上に「もしかして」の気持ちで行動できるようにしていきたいと思います。



話は変わりますが、十小にも冬休みに入ってから、大谷翔平選手から「あのグローブ」が届きました。本日の始業式で子供たちに披露しました。この後、各学級でも直接手に取って、使ってもらいます。有名になった「野球しようぜ!」のメッセージの他に、こんなことも書かれていました。「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」私の勝手な解釈ですが、大谷選手は、ただ単に野球のことだけを考えてのではなく、目標や夢を持って頑張ってもらいたいという願いを全国の子供たちに伝えたかったのだと思っています。御存知のように、大谷選手はこれまで多くの目標をたて、それを実行し、夢の実現に向けて取り組んできました。十小の子供たちも、目標を持って、それにチャレンジし、夢に向かって努力し続ける人になってほしいと思います。



今回も素晴らしい歌声を聴かせてくれた

「わっしょい! 十小祭」

♪うたの輪合唱団コンサート♪(12/22)